

読売新聞
平成27年5月3日掲載

病院の 実力

～長野編 88

今回の「病院の実力」は、呼吸器の病気を取り上げた。一覧表には、慢性閉塞性肺炎患（COPD）と間質性肺炎・肺線維症の入院患者数、在宅酸素療法を採り入れた患者数を掲載した。COPDは、有害物質を吸い込んで気管支が炎症を起し

呼吸器の病気

COPDの原因はほぼ喫煙

し、空気の通り道が狭くなる。さらに、酸素と二酸化炭素を交換するブドウの房のような形をした肺胞が傷んで壁が壊れ、空気をうまく吐き出せなくなる。原因のほとんどは喫煙だ。間質性肺炎・肺線維症も肺胞の壁が厚く硬くなる線維化が進み、酸素と二酸化炭素の交換ができにくくなる。膠原病など自己免疫疾患や薬の副作用、感染症などが引き金となるが、原因がわからないことが多い。いずれの治療も、喫煙している場合は禁煙し、服薬と運動、呼吸の訓練などを行う。症状悪化につながる風邪やインフルエンザなどの感染を防ぐことも大切だ。肺の機能が低下し、血液中の酸素が不足して呼吸不全に陥る恐れがある。こうした患者の助けになるのが在宅酸素



長野松代総合病院
宮原隆成副院長

療法だ。この療法には、①自宅では空気が酸素を取り出す酸素濃縮装置で吸入し、外出時は携帯用の酸素ボンベを使う方法②液体酸素から気化した酸素を吸入する方法がある。体に酸素が行き渡ることによって活動的になり、脳卒中や心筋梗塞などの合併症を防ぐことができる。長野市のJA長野厚生連長野松代総合病院では、吸入薬で気道を広げることからCOPDの治療を始めるが、悪化している患者には在宅酸素療法を勧めている。副院長の宮原隆成医師(51)は「活動的な生活を心がけながら、継続的に治療していくことが大切だ」と話す。

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は6月7日「糖尿病」の予定です。

宮原医師によると、COPDの患者は推定500万人。ただ、治療を受けているのは20万〜30万人ほどという。40歳以上で喫煙歴があり、軽い運動でも息が苦しくなったり、せきやたんが常に出たりするような場合はCOPDが疑われるため、早めの受診が望ましい。

病院の実力「呼吸器の病気」

医療機関別2014年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	COPDの入院患者数(人)	間質性肺炎・肺線維症の入院患者数(人)	在宅酸素療法を採り入れた患者数(人)
長野			
松本協立	113	59	25
長野赤十字	52	91	36
長野松代総合	48	53	44
信州大	42	53	7
市立岡谷	34	39	44
長野市民	17	47	35
県立須坂	7※	43※	26
群馬			
上武呼吸器科内科	159	54	42
伊勢崎市民	139	29	92
国・西群馬	112	353	60
前橋赤十字	74	74	60
公立富岡総合	64	51	46
桐生厚生総合	40	28	44
下仁田厚生	35	2	10
群馬大	31	60	46
国・高崎総合医療セ	24	86	133
山梨			
市立甲府	72	68	37
山梨大	5	22	42
山梨厚生	5	19	14
岐阜			
県立多治見	198	234	53
大垣市民	141	96	74
国・長良医療セ	94	140	39
中濃厚生	52	59	15
西美濃厚生	28	12	10
岐阜大	約15	約30	約20
東濃厚生	13	24	31
岐阜市民	7	64	41
岐阜赤十字	7	13	10
愛知			
豊橋市民	203	211	83
安城更生	200	100	40
公立陶生	148	659	65
豊田厚生	130	132	22
名古屋第一赤十字	111	194	94
刈谷豊田総合	109	142	46
藤田保健衛生大	103	55	89
愛知医大	80	92	65
大同	67	65	29
地・中京	60	35	35
国・名古屋医療セ	50	40	15
春日井市民	44	18	14
県がんセ愛知	41	61	40
中部労災	39	40	30
トヨタ記念	37	82	54
津島市民	36	34	27
小牧市民	35	42	26
名城	33	48	19
名古屋市立東部医療セ	33	28	55
名古屋掖済会	31	51	25
岡崎市民	29	99	42
名古屋大	29	39	75
藤田保健衛生大坂文種報徳会	28	26	14
一宮西	18	55	43
名古屋市大	8	52	71

「国・」は国立病院機構。「地・」は地域医療機能推進機構。「セ」はセンター。
※2013年実績